

# 被災地墓地の復旧で手を貸す若職人の手

県石材組合が主力に



大津波で重い墓石があちこちに運ばれた墓地の復旧作業に励むメンバー=3月下旬、宮城県石巻市

県内石材店でつくる県石材組合の青年部が東日本大震災で被災した宮城県石巻市の墓地復旧に尽力している。昨年11月に続いて今年3月にも、津波で荒れ果てた寺院で墓地の復旧作業に当たった。「お墓は被災された方々の大切な心のよどぎぬ」と息の長い活動を目指している。

被災地で撤去される  
がれきは減ってきて  
るもの、重さ数百キ  
から1トンほどの墓石が  
大津波であちこちに運  
ばれた墓地は、今でも  
ほとんど手付かずのま  
ま。住民やボランティ  
アでは墓石を動かすこ  
とすら難しい。

「石は石屋」。日本  
石材産業協会(石産協)  
の同業者への呼び掛け  
に応じて、県石材組合  
青年部も支援に乗り出  
した。

石産協は石巻市で1  
バーチをまとめる大場貴  
青年部長としてメン

参加した森川和弘さん(36)は焼津市は「檀家(だんか)さん  
が駆け付けて『ありがとう』と言つてくれた。自宅を流された方々に  
とって先祖代々のお墓は何よりも大切だと痛感した」と話す。

「檀家(だんか)さん  
が駆け付けて『ありが  
とう』と言つてくれた。  
自宅を流された方々に  
とって先祖代々のお墓  
は何よりも大切だと痛  
感した」と話す。

## 県内で観測された最大放射線量 最大値と観測した時間帯 (16日午後5時~17日午後5時の間)

静岡市	0.0359 (17日午後4~5時)
下田市	0.0382 (17日午前8~9時)
沼津市	0.0330 (17日午前4~5時) (17日午前8~9時)
磐田市	0.0371 (17日午前5~6時) (17日午前7~8時)

新茶2度目調査も  
セシウム基準値内  
県産新茶の放射性物

文さん(37)は浜松市南区には「被災地で最も復旧が遅れている場所の一つが墓地。石材職人として居ても立ってもいられなかつた」と話し、「今後もできる限りの支援を続けていく」と力を込める。